

年 組 名前：

風林火山

日々言葉と向き合うが、つくづく難しいと思う。同音異義語なら漢字一つ間違えば意味が全く異なる。見出しや記事では神経を使う▼ある言葉が全く違う意味で使われることもある。その一つが「適当」。辞書で調べれば「目的にぴたりあっていること」とある。一方で「いい加減なこと」とも▼前後関係から意味を推測するが、漢字で「適当」と書けば前者、「テキトー」と書けば後者の意味にも感じられる。日本語の面白さだろう▼実社会では適当に対応したつもりが、結果的にテキトーに見えてしまうことがあるかもしれない。コメの価格調整に対する政府の対応を振り返ってそう思う。わが家で食べているコメ(5キ)は1年前と比べ今はほぼ2倍。昨年8月、「新米が出回れば安定する」とした農林水産相の発言は何だったのか▼実際には2024年産米の生産量は前年より18万ト増えているのに、JA全農などに集まった量は昨年末時点で21万ト少なかったようだ。農水省は、値上がりを見込んだ一部農家や業者がコメを保有しているとみているという。昨秋の段階で、投機的な動きに対する見方が甘かったことを認めた格好だ▼農水省はようやく重い腰を上げ、来月から価格安定のため、備蓄米を放出する。多くの食材が高騰する中、せめて主食のコメは安定した価格で消費者に。その視点があればこれから先も、何が適当な対応か見えてくる気がする。

(2025年2月20日付 山梨日日新聞1面)

問1

日本語には、同音異義語で意味が全く異なる言葉があります。「適当」と「テキトー」の意味を教えてください。

・適 当：.....

・テキトー：.....

問2

昨年8月、農林水産相の「新米が出回れば安定する」は、「適当」か「テキトー」のどちらでしたか。

.....

問3

農林水産省は、コメが値上がりした理由を、どのように認めた格好になりましたか。

.....

問4

農林水産省が実施する、コメの価格を安定させるための対策を、教えてください。

.....